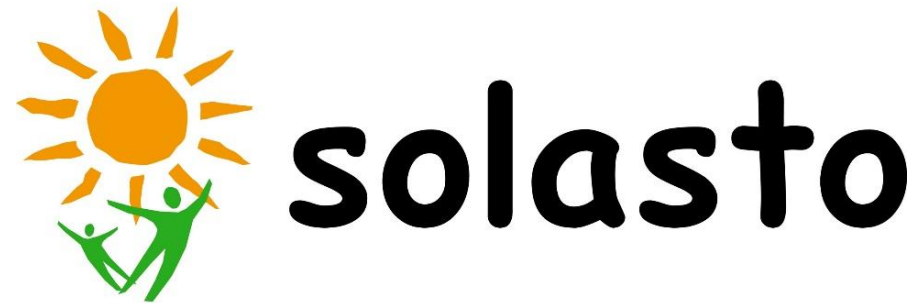




FY2025 中間期決算説明資料

2025年 11月 12日

株式会社 ソラスト

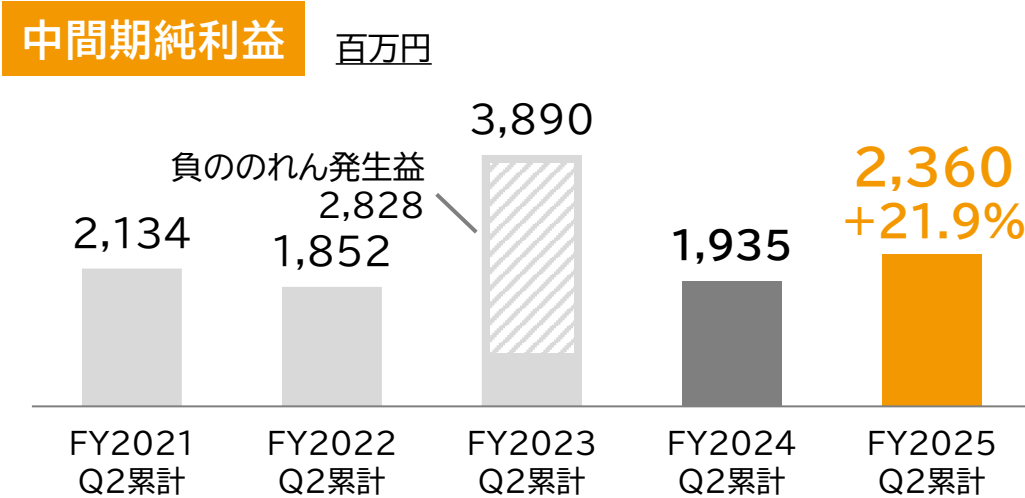
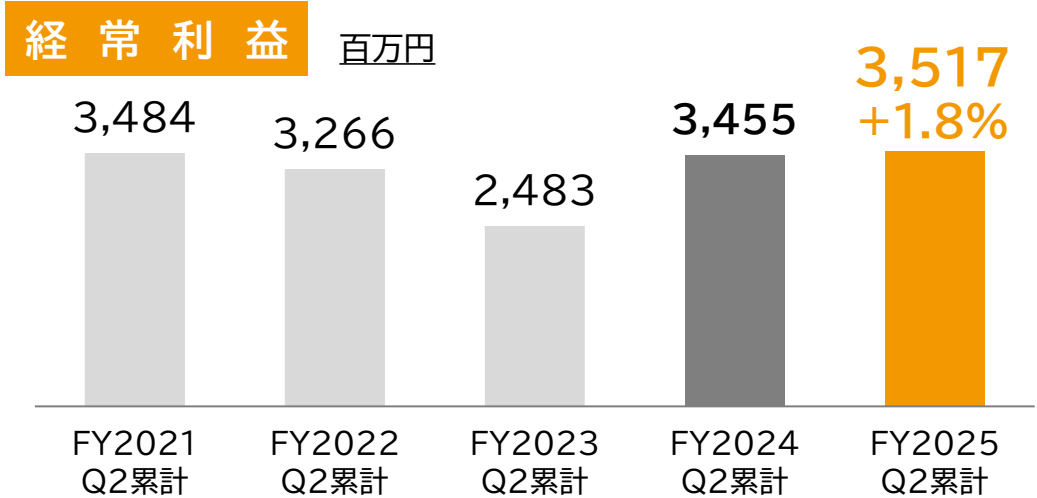
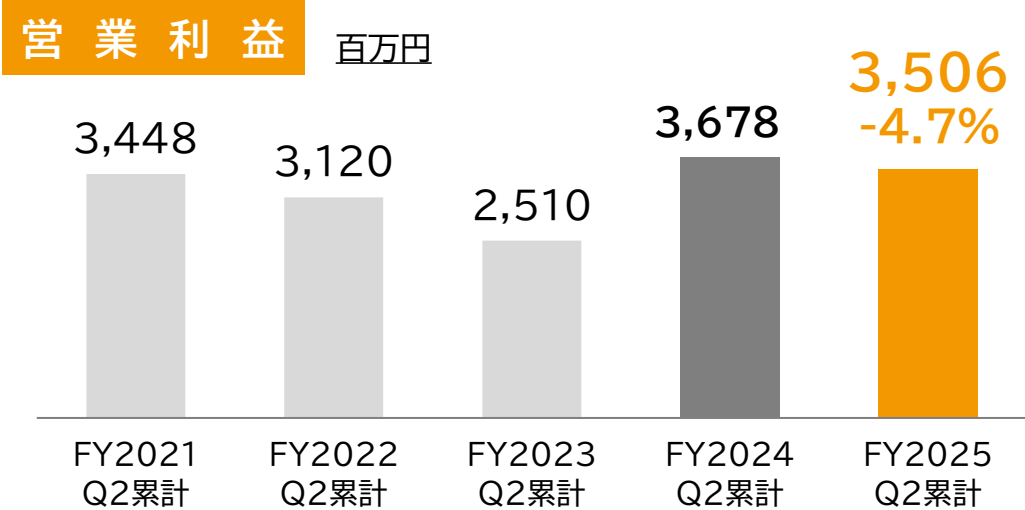
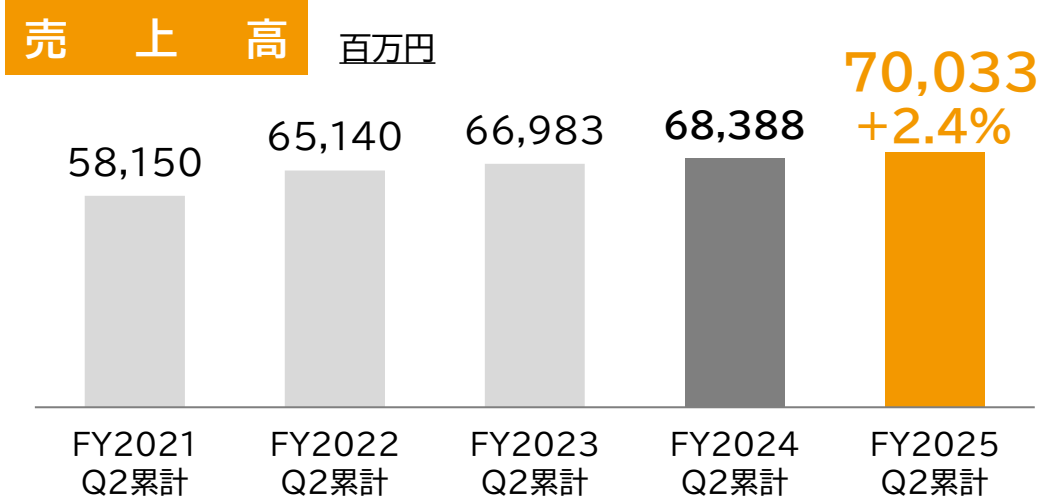
01

FY2025 中間期決算概要

業績ハイライト



- 売上高は2.4%増収、中間期で初めて700億円を突破した
- 営業利益は計画通りの処遇改善強化と新規IT投資により前年同期比4.7%減
- 各段階利益が当初計画を大幅に上回って進捗した



セグメント別 業績ハイライト



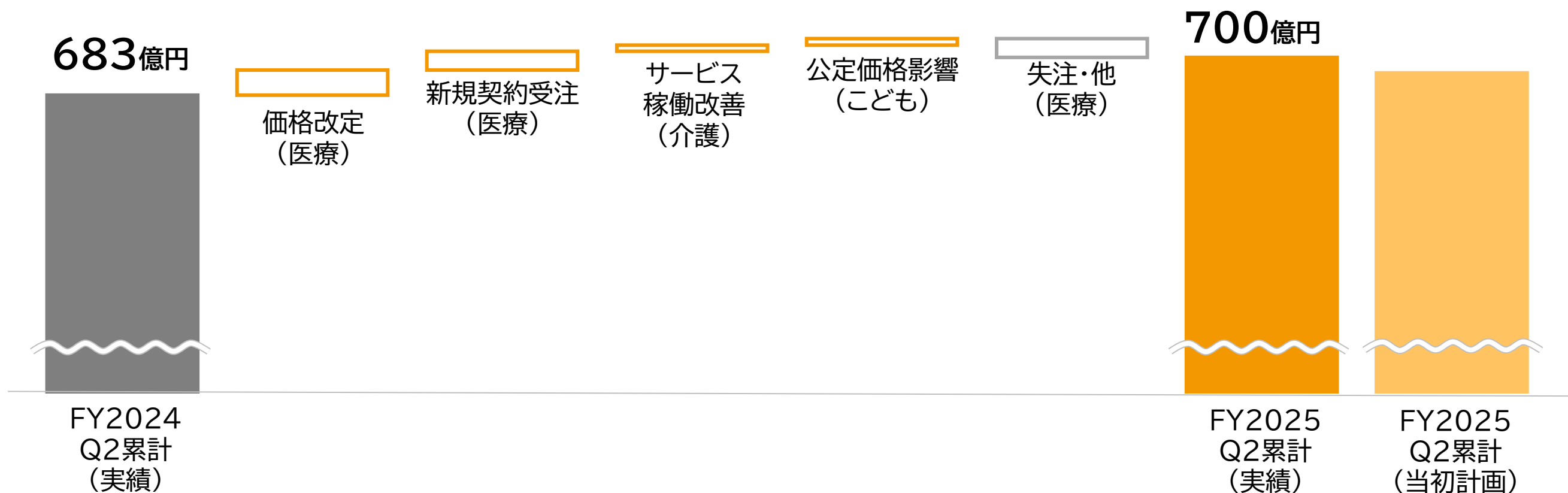
- 全事業で増収を達成した
- 医療事業・こども事業は当初想定通り減益となるも、全事業がQ1の好調を維持し当初計画を上回った

	売上高				EBITDA ()はEBITDAマージン				営業利益 ()は営業利益率			
百万円	FY24 Q2累計	FY25 Q2累計	YoY	YoY (%)	FY24 Q2累計	FY25 Q2累計	YoY	YoY (%)	FY24 Q2累計	FY25 Q2累計	YoY	YoY (%)
医療事業*	35,548	36,617	+1,069	+3.0%	2,520 (7.1%)	2,272 (6.2%)	-247 (-0.9p)	-9.8%	2,336 (6.6%)	2,083 (5.7%)	-253 (-0.9p)	-10.8%
介護事業	27,782	28,066	+283	+1.0%	2,368 (8.5%)	2,557 (9.1%)	+188 (+0.6p)	+8.0%	1,258 (4.5%)	1,458 (5.2%)	+200 (+0.7p)	+15.9%
こども事業	5,034	5,327	+293	+5.8%	324 (6.5%)	208 (3.9%)	-116 (-2.5p)	-35.9%	78 (1.6%)	-39 (-)	-117 (-)	-

*2025年度より「スマートホスピタル事業」を「その他」から「医療事業」に変更。2024年度の実績に2025年度のセグメント変更を反映した参考値を用いて前年比較を実施。

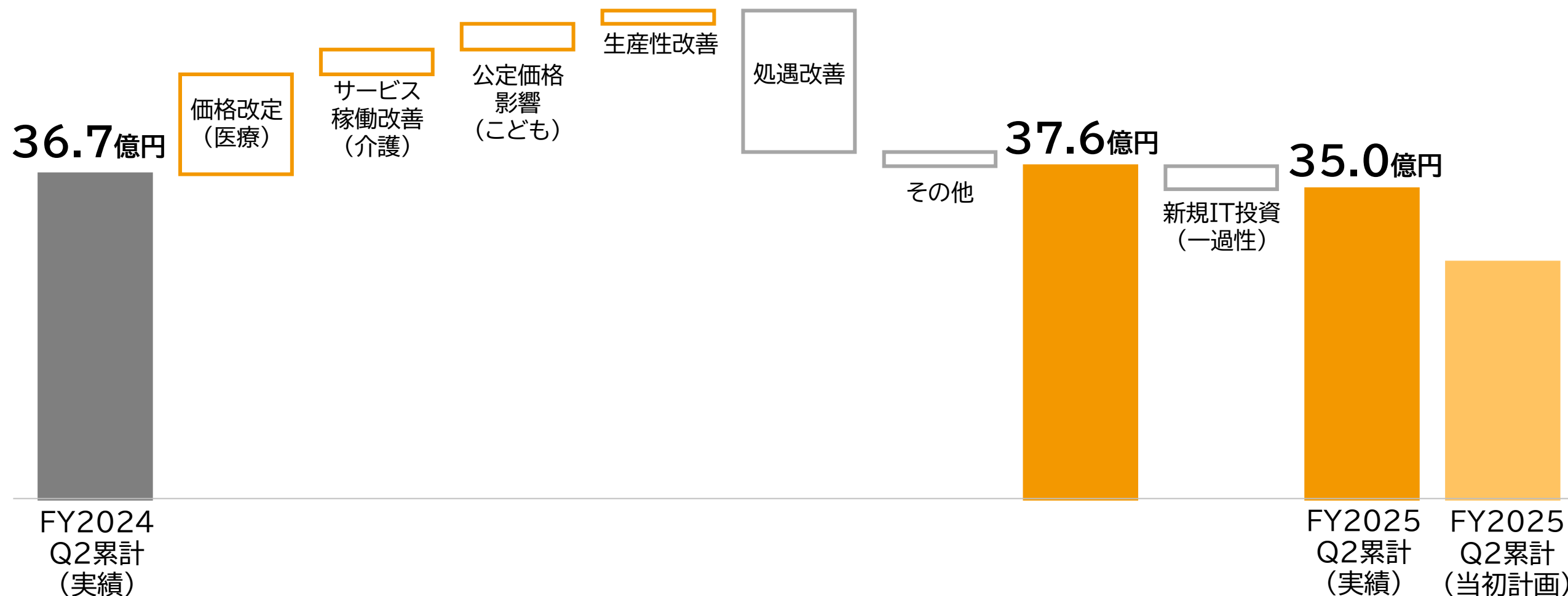
売上高 増減分析

- 増収要因：主に医療事業の計画以上の価格改定と新規契約受注
- 減収要因：医療事業で積極的な価格交渉を推進したことにより一部契約失注が発生



営業利益 増減分析

- 増益要因：医療事業の計画以上の価格改定を中心とした増収効果等
- 減益要因：計画通りの処遇改善強化、新規IT投資(一過性)等

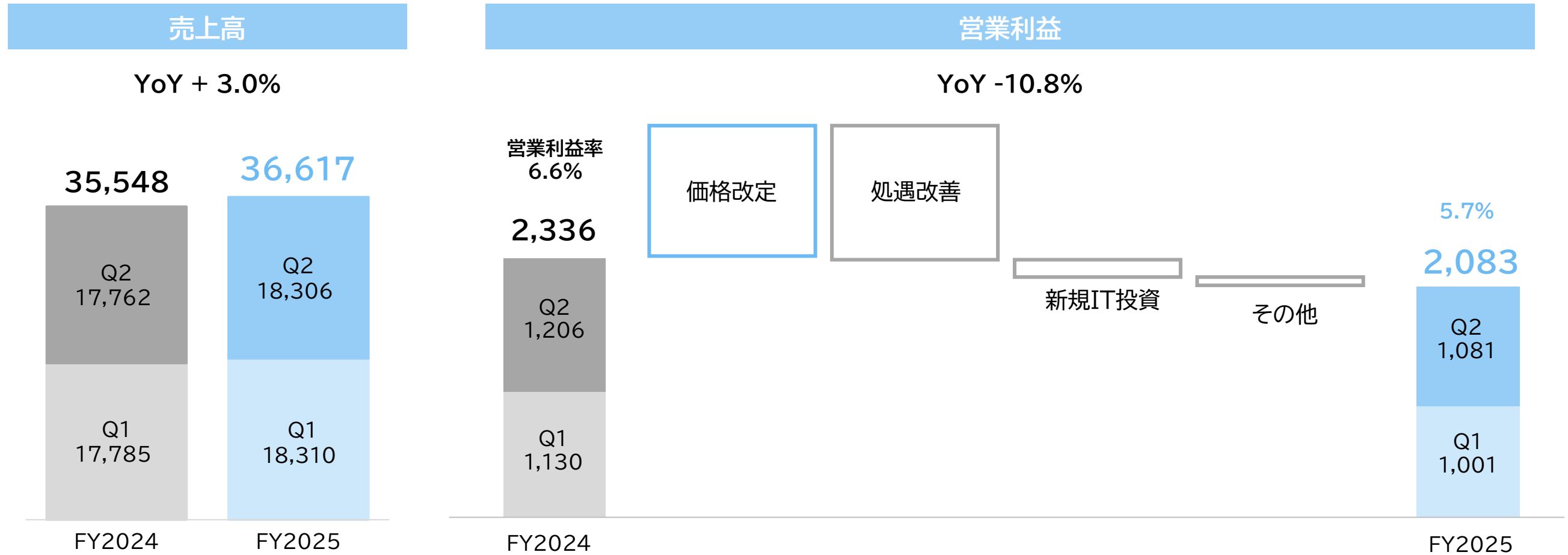


医療事業 セグメント別業績(前年同期比)

売上高: 好調な価格改定を背景に3.0%増

営業利益: 計画通りの処遇改善強化により10.8%減

百万円

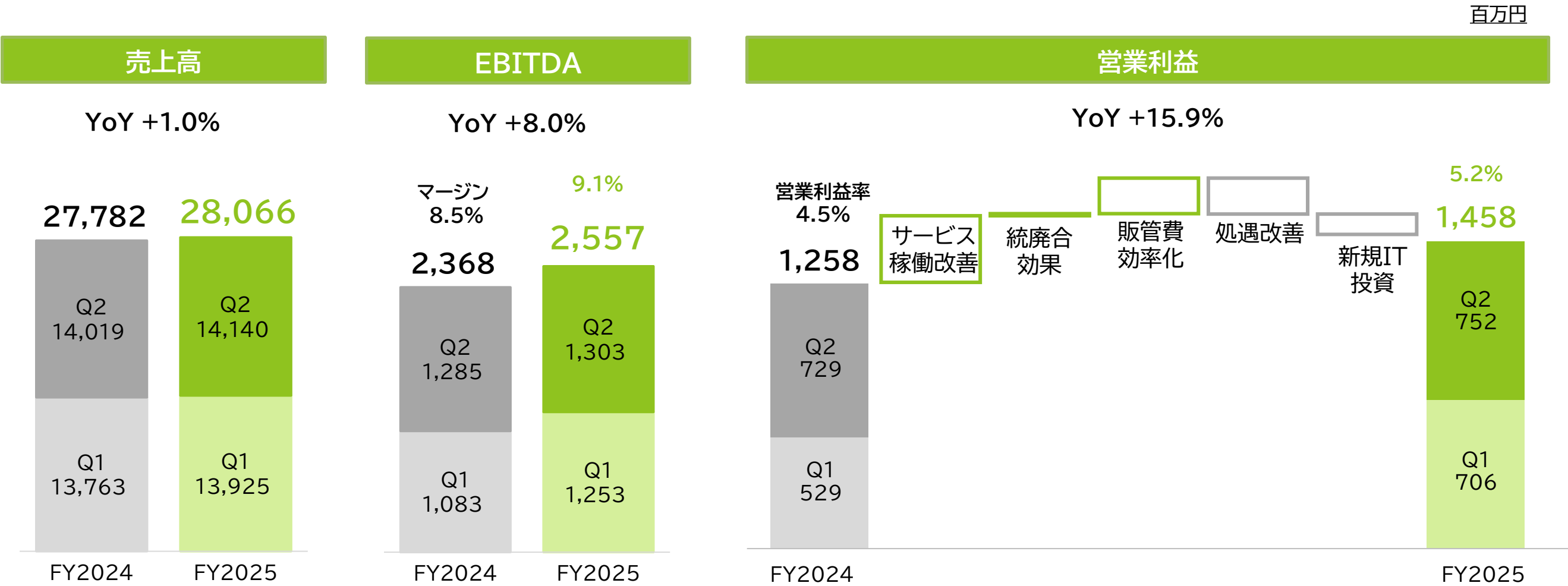


*2025年度より「スマートホスピタル事業」を「その他」から「医療事業」に変更。2024年度の実績に2025年度のセグメント変更を反映した参考値を用いて前年比較を実施。

介護事業 セグメント別業績(前年同期比)



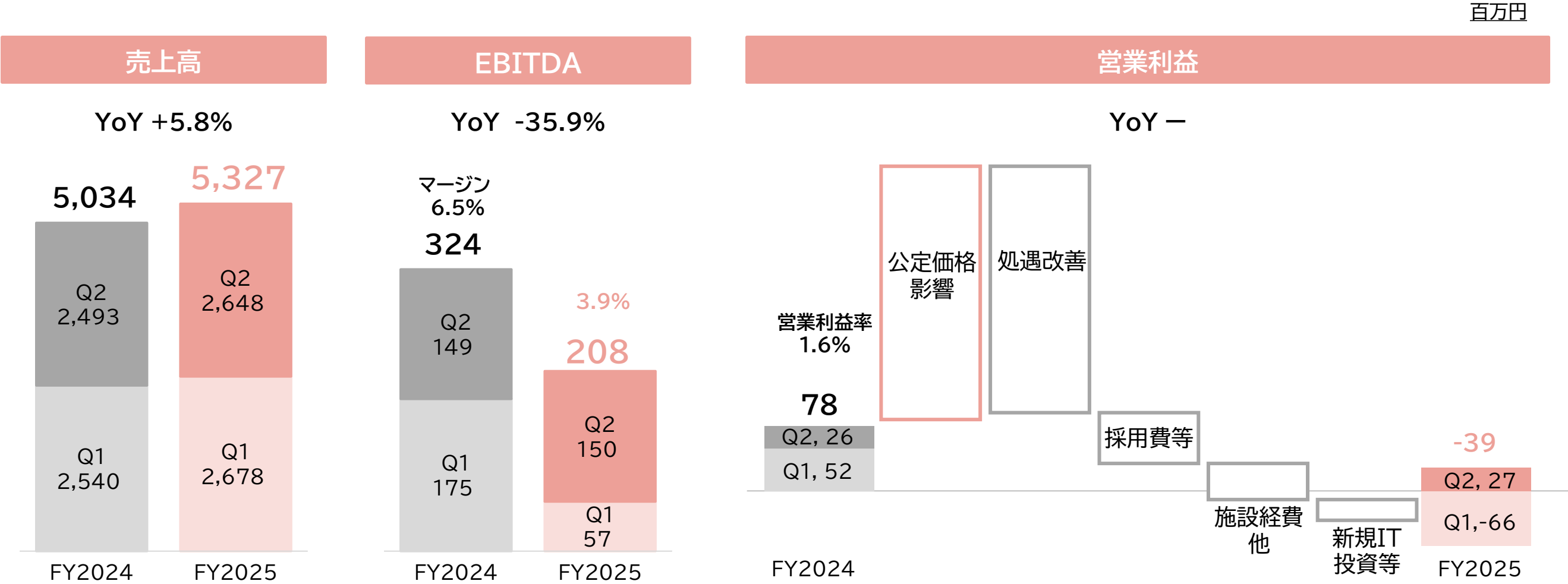
売上高: デイサービスの稼働・施設系サービスの入居が堅調に推移し1.0%増
営業利益: 水道光熱費等の物価高騰影響を受けたものの、増収効果や販管費効率化等が功を奏し15.9%増



こども事業 セグメント別業績(前年同期比)



売上高: 公定価格の改定に伴う単価の上昇等により5.8%増
営業損失: 処遇改善、保育士補充強化のための採用費増(Q1)、施設経費増等により損失を計上した



02

中期経営計画FY2025-2029の進捗

重点戦略

人口減少社会を見据えた「人的資本経営強化×テクノロジー」

医療事業

- ・ 次世代アウトソーシング事業育成
- ・ ソリューションビジネスの進化
- ・ 品質向上のための人材育成強化
- ・ 価格適正化と積極的な処遇改善

介護事業

- ・ 介護BPRによる収益性改善
- ・ サービス稼働率及び入居率改善
- ・ 厳選したM&Aの実行

こども事業

- ・ 保育の質の向上と差別化戦略
- ・ 社員定着・生産性向上の取り組み

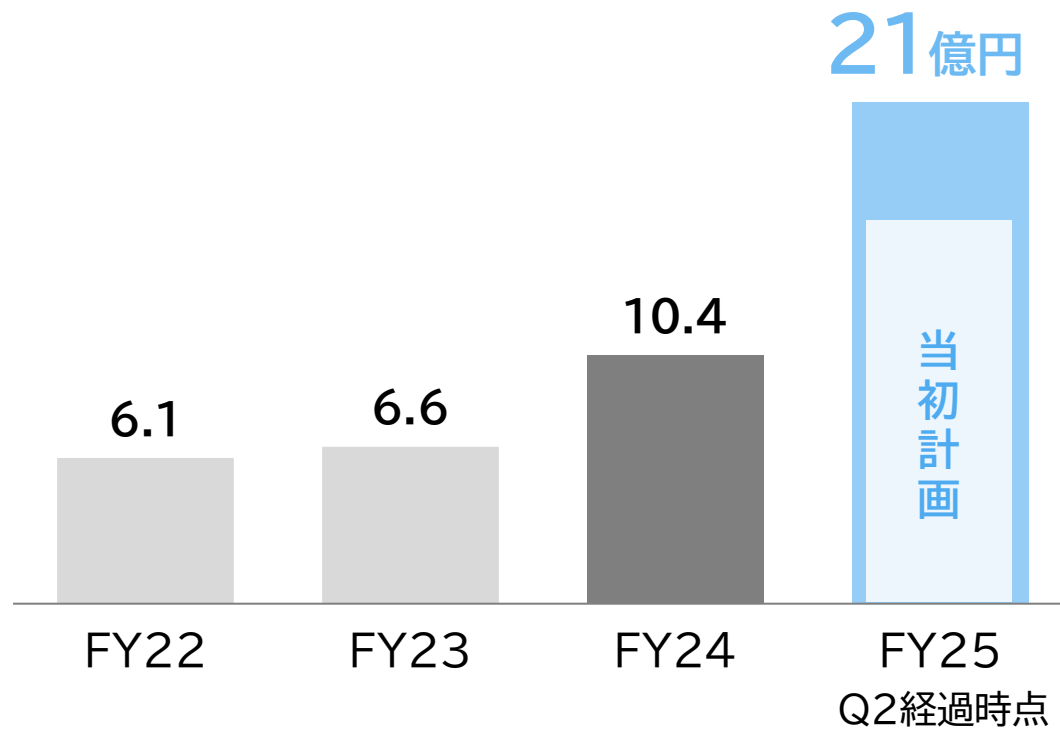
全社施策

- ・ 次世代IT基盤刷新を含む新規IT投資
- ・ ESGの取り組みの深化
- ・ 健全な財務基盤の構築
- ・ 積極的な事業投資の推進

医療事業戦略： 価格適正化の進捗

- Q2経過時点で今年度計21億円の増益効果を確保した
- 下期も交渉を加速させ、更なる増収を追求する

営業利益インパクト(通期)



顧客満足と社員満足を向上させる好循環

サービス品質向上

- 顧客満足度向上
- 持続可能な関係構築

処遇改善原資の確保

- 価格戦略ガイドラインに沿った契約交渉
- DX・カイゼン活動による生産性向上

競争優位性の確立

- 定着率向上による人員充足と残業減少
- リソースマネジメント施策による労働生産性向上効果の最大化

処遇・働き方改善

- 処遇改善、ワークライフバランスを実現する職場環境の提供により社員満足度を向上
- 採用時賃金アップにより良質な人材を確保

(中期経営計画FY2025-2029 再掲)



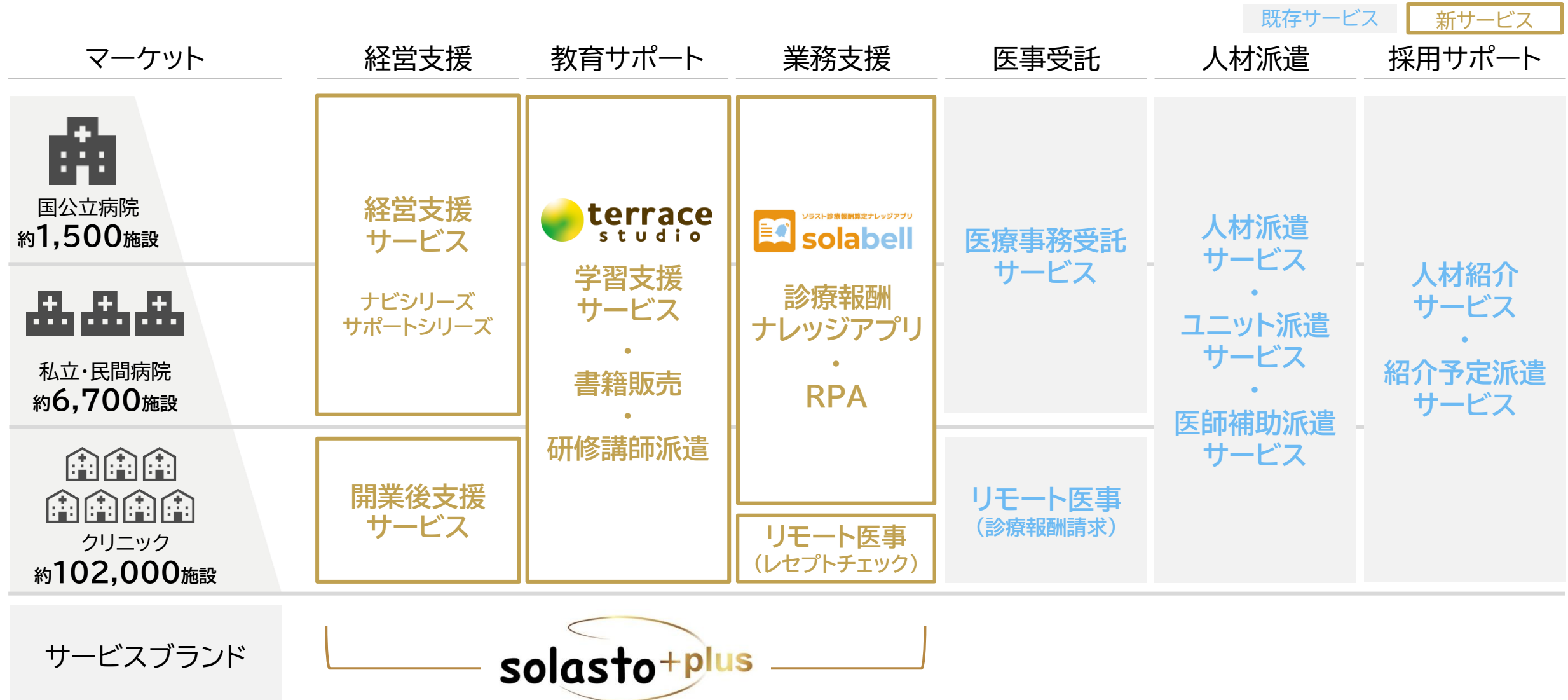
ブランドに込められた想い

ソラストが提供しているサービスにさらに価値をプラスするのが『solasto+plus』のコンセプトです

医療機関の成長を支援するだけでなく、ソラストのサービスも進化・拡大していきます

医療事業戦略：ソリューションビジネスの進化

- 経営・教育・業務支援サービスを『solasto+plus』としてブランド化、ソリューション提供体制を再構築した
- 経営支援に「クリニック向け開業後支援サービス」を追加し、開業から運営まで一気通貫でサポートする



既存サービス

新サービス

- 経営支援・リモート医事はソリューション連携強化により順調に契約を獲得した
- 特にsolabellは初期の引き合いが好調で、外販開始後わずか2か月で約130件の契約を獲得した



経営支援

上期の新規受注は極めて好調に推移し、契約単価も上昇
高付加価値な「伴走型支援」の導入も開始した

新規契約件数	契約単価(百万円)
34件 (+20件)	2.4M (+0.7M)



リモート医事

ソリューション連携強化により、契約数は前年同期比1.5倍
売上・利益ともに増加、8月より価格改定を実施

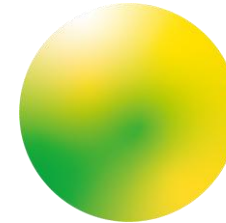
総契約件数	売上高(百万円)	営業利益(百万円)
150件 (+50件)	141M (+0.4M)	38M (+75M)



solabell

9月より外販を開始し、初期の引き合いが極めて好調
わずか2ヵ月で131医療機関の契約を獲得

総契約件数	総ID数
131件 (-)	306ID (-)



terrace studio

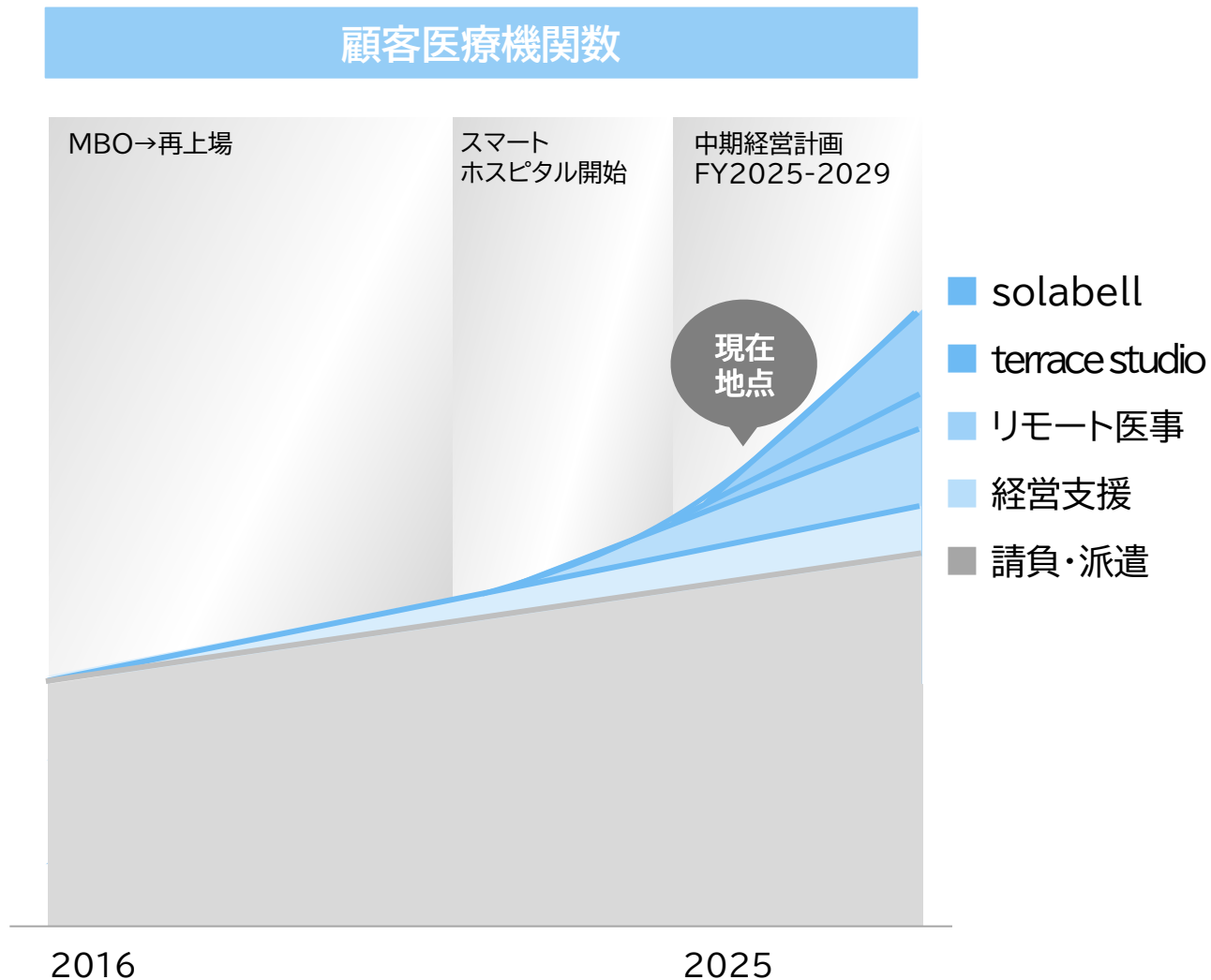
4月より料金プランをサブスクリプション形式に刷新
半年間で78医療機関との契約を獲得

総契約件数	総ID数
78件 (-)	748ID (-)

*()は前年同期比

医療事業戦略：ソリューションビジネスの今後の展望

- ソリューションビジネスにより顧客医療機関数は急拡大、今後の次世代アウトソーシングの顧客に繋げる
- 当面はプロモーションを継続しながら、ソリューションビジネスの供給体制の整備を進める



積極的なプロモーションの継続



メディアへの露出



割引キャンペーン



展示会等への出展

ソリューション供給体制の整備

経営支援の人材を5か年で倍増

育成・柔軟な配置転換



低リスクでセンターを拡張

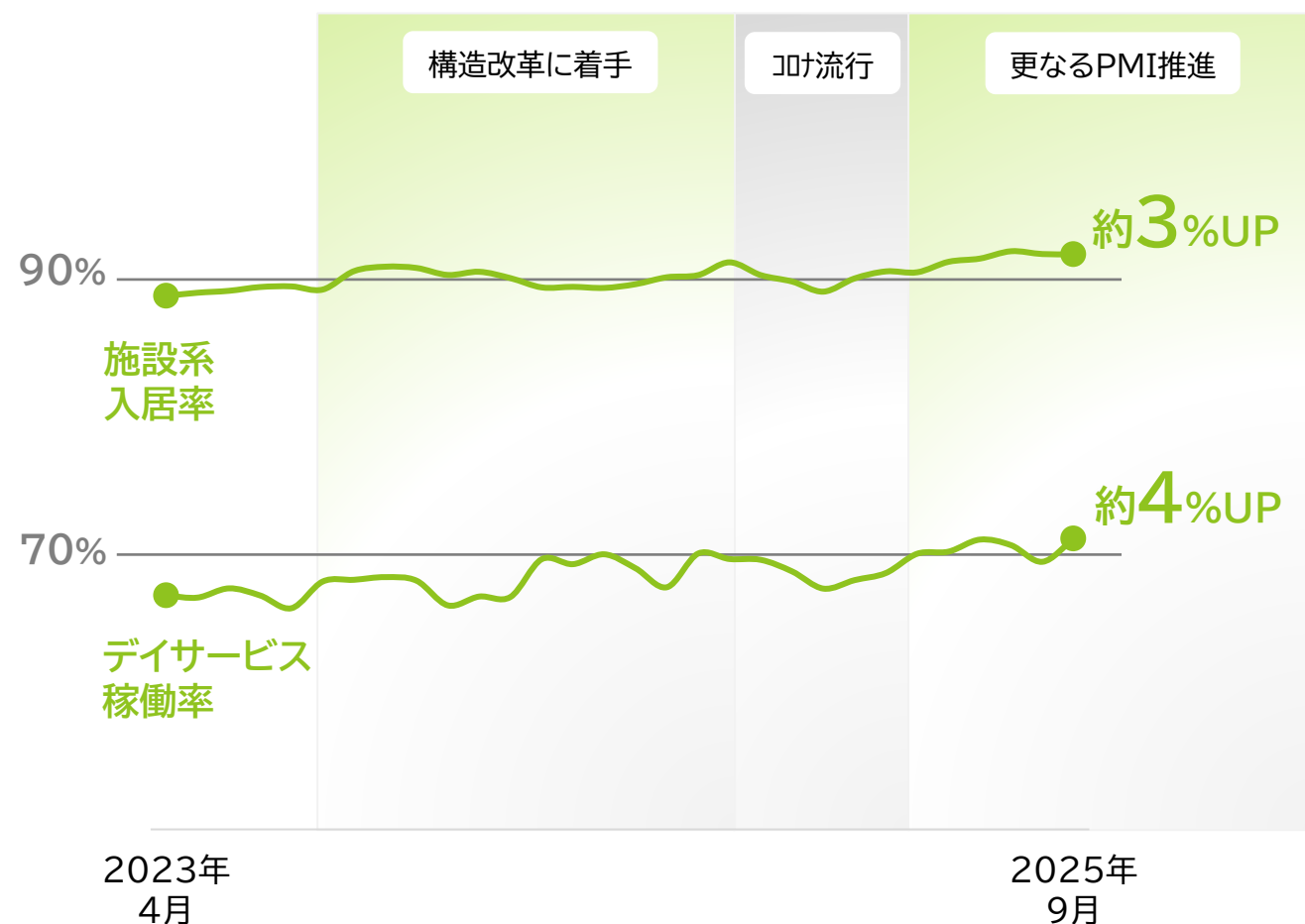
リモート医事センターとして一部を活用



介護事業戦略： サービス稼働率・入居率改善の取り組み

- デイサービス・施設系サービスの稼働・入居が順調に改善した
- 事業運営のベストプラクティスを横展開し加算取得を更に推進する

サービス稼働・入居状況



今後の重点施策

- 優良事業所のベストプラクティスを横展開し、加算の取得を推進(機能訓練・口腔ケアなど)
- 積極的な施設リニューアルの推進で入居率を向上
- 食材費・水道光熱費等の物価高騰影響の価格転嫁

(機能訓練の様子)



2017年度M&A ベストケア



2023年度M&A ポジブル医科学

介護事業戦略：新規施設開設、訪問介護の戦略的対応

- 2026年10月にグループホーム、2027年6月に有料老人ホームをオープン予定
- 撤退する訪問介護事業者を早期に把握、当社事業所で人材・顧客を受け入れ、サービスを継続した

グループホーム・有料老人ホームを新規開設



サービス グループホーム
エリア 東京都多摩地区
定員数 18名(2ユニット)
開設時期 2026年10月
オープン予定

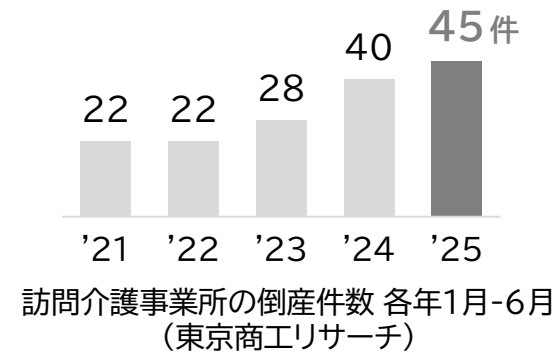


サービス 有料老人ホーム
エリア 東京都23区東部
定員数 60名
開設時期 2027年6月
リニューアル
オープン予定

撤退する訪問介護事業者の人材・顧客を受け入れ

厳しい市場環境

ヘルパーの深刻な採用難
介護報酬マイナス改定で収益圧迫
倒産件数は過去最多を更新

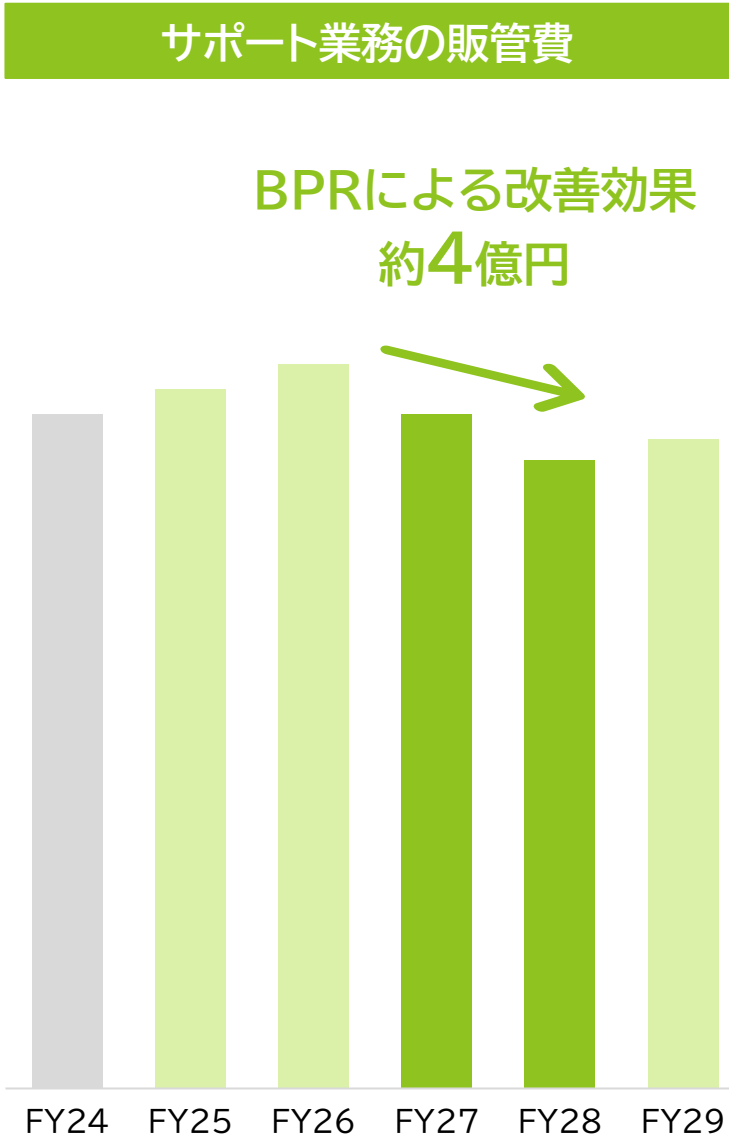
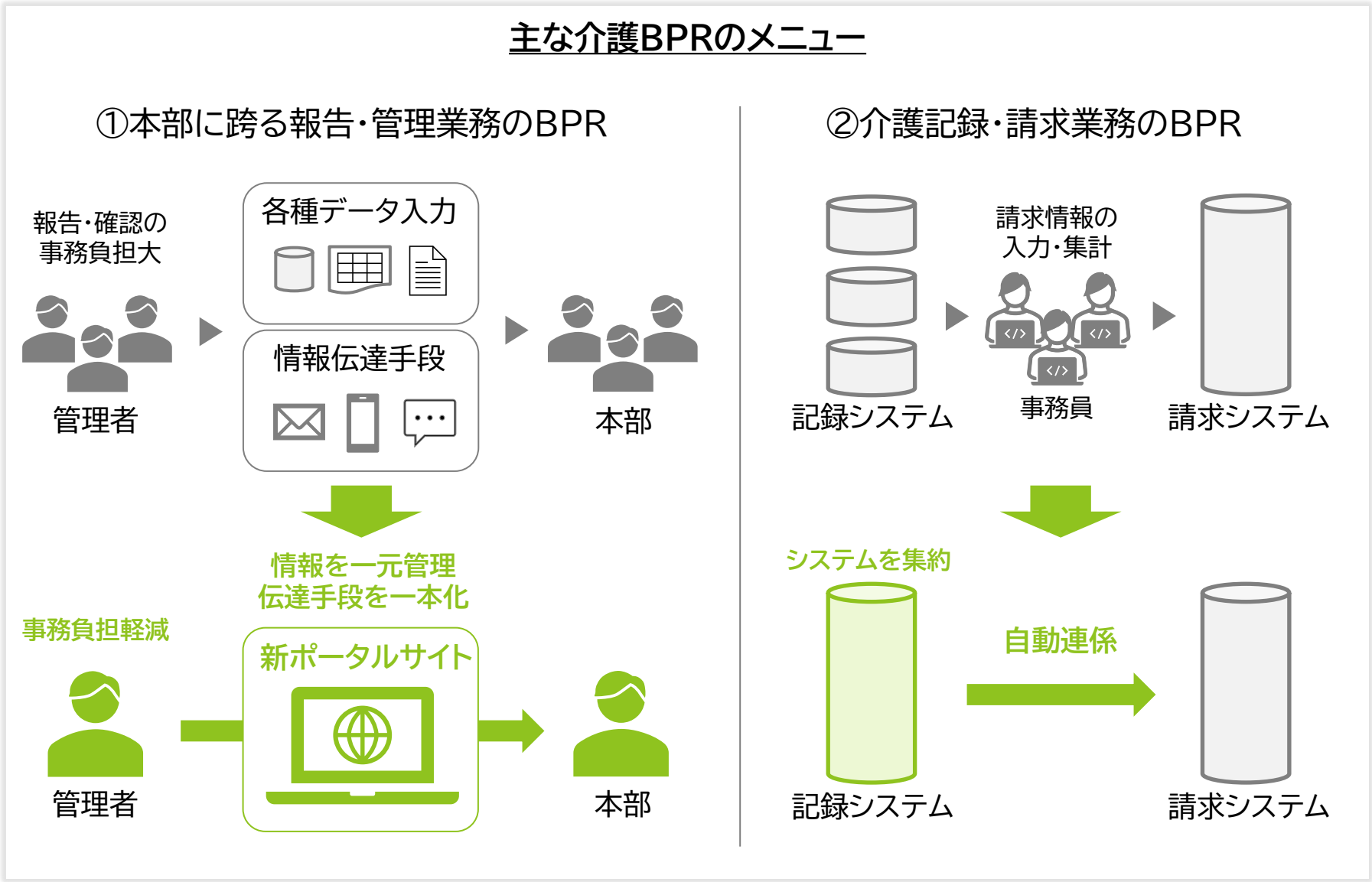


当社の戦略的対応

撤退事業者情報を早期把握
人材・顧客を迅速に受け入れ

シェア拡大の好機に

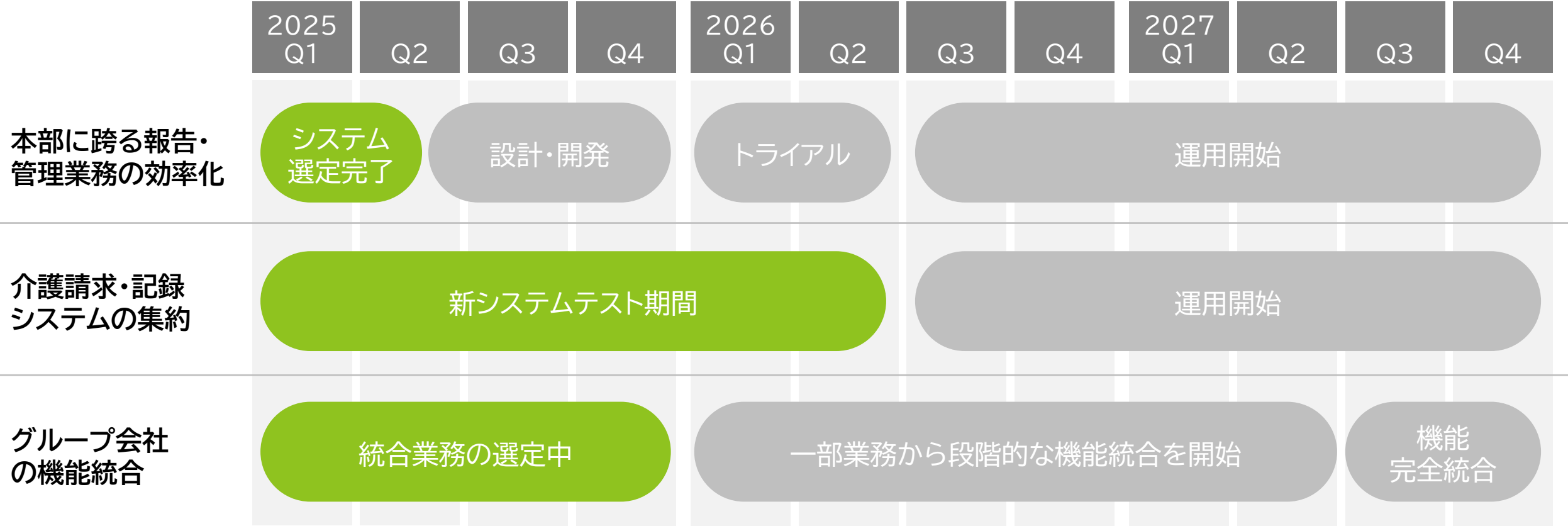
- 新ポータルサイト開発、記録・請求システムの集約、グループ会社の機能統合によりサポート業務を効率化する



介護事業戦略×IT戦略： 介護BPRの進捗(2)

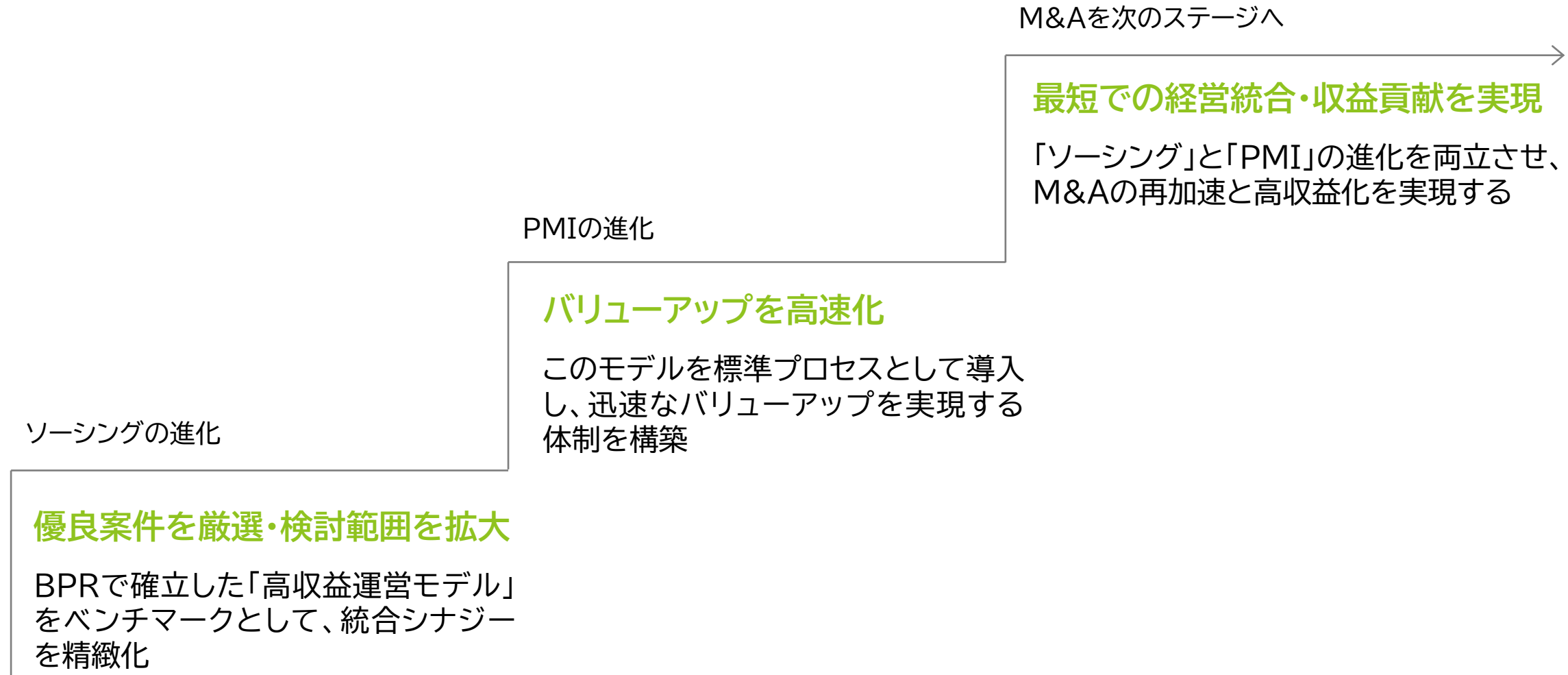


- 各BPRを計画通り遂行中
- 2026年度より段階的に運用を開始、より高収益な運営モデルに移行する



介護事業戦略： 今後の介護M&A戦略

- BPRで確立する「高収益運営モデル」を武器に、M&Aを「次のステージ」へ進化させる



03

FY2025 連結業績予想の修正

連結業績予想の修正



- 売上高と各段階利益を上方修正した
- 下期は最低賃金が想定以上に上昇したことに伴う追加の処遇改善や新規IT投資に伴う一時費用を想定する

百万円	FY2024 実績	FY2025 当初予想	FY2025 修正予想	修正後YoY	修正後YoY (%)
売上高	137,435	139,450	140,740 +1,290	+3,304	+2.4%
EBITDA	10,127	9,000	9,720 +720	-407	-4.0%
(EBITDAマージン)	7.4%	6.5%	6.9% +0.4p	-0.5p	-
営業利益	7,017	6,000	6,720 +720	-297	-4.2%
(営業利益率)	5.1%	4.3%	4.8% +0.5p	-0.3p	-
経常利益	6,726	5,800	6,670 +870	-56	-0.8%
当期純利益	3,960	3,400	4,050 +650	+89	+2.3%

セグメント別業績予想



売上高: 主に医療事業の価格改定の上振れ分を反映した
営業利益: 全ての事業が当初予想を超過する見込み

百万円	売上高					営業利益				
	FY24 実績	FY25 当初予想	FY25 修正予想	修正後 YoY	修正後 YoY(%)	FY24 実績	FY25 当初予想	FY25 修正予想	修正後 YoY	修正後 YoY(%)
医療事業	71,214	72,210	73,570 +1,360	+2,355	+3.3%	4,388	3,540	3,840 +300	-548	-12.5%
介護事業	55,337	56,260	55,950 -310	+612	+1.1%	2,218	2,140	2,540 +400	+321	+14.5%
こども事業	10,836	10,950	11,180 +230	+343	+3.2%	401	310	330 +20	-71	-17.8%
その他	46	30	40 +10	-6	-14.5%	9	10	10 +0	+0	+11.0%

Appendix

	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025 Q2累計	FY2025 修正予想
ROE	15.2%	10.7%	18.4%	—	17.1%
ROIC	9.1%	7.9%	10.3%	—	10.5%
WACC*1	6.1%	5.1%	5.9%	—	—
Net debt/EBITDA倍率*2（倍）	1.5	1.5	0.9	1.0	—
D/Eレシオ*3（倍）	1.2	1.4	1.0	0.9	—
フリーキャッシュフロー(百万円)	6,840	5,096	6,224	930	—
1株当たり当期純利益(円)	33.53	24.11	42.94	25.60	44.23
1株当たり配当額(円)	20.00	20.00	20.00	11.00	22.00
配当性向(連結)	59.6%	83.0%	46.6%	—	49.7%

*1 各年度3月末時点の推計値
*2 Net debt=有利子負債(リース債務含む)－現金及び預金
*3 D/Eレシオ=有利子負債(リース債務含む)/純資産

百万円	FY2022 Q2累計	FY2023 Q2累計	FY2024 Q2累計	FY2025 Q2累計	YoY(%)	FY2025 修正予想
売上高	65,140	66,983	68,388	70,033	+2.4%	140,740
EBITDA EBITDAマージン	4,692 7.2%	4,141 6.2%	5,218 7.6%	5,041 7.2%	-3.4%	9,720 6.9%
営業利益 営業利益率	3,120 4.8%	2,510 3.7%	3,678 5.4%	3,506 5.0%	-4.7%	6,720 4.8%
経常利益	3,266	2,483	3,455	3,517	+1.8%	6,670
中間(当期)純利益	1,852	3,890	1,935	2,360	+21.9%	4,050

連結貸借対照表



百万円	2025年 3月末	2025年 9月末
流動資産		
現金及び預金	14,004	10,989
売掛金	14,983	17,085
その他	2,178	2,991
流動資産合計	31,166	31,067
固定資産		
建物及び構築物	8,881	8,610
土地	5,672	5,672
のれん	13,625	12,804
その他	10,751	10,721
固定資産合計	38,930	37,808
資産合計	70,097	68,875

	2025年 3月末	2025年 9月末
流動負債		
短期借入金	—	—
1年内返済予定の長期借入金	4,782	4,782
未払金(社員給与)	9,942	9,712
その他	7,637	7,970
流動負債合計	22,362	22,465
固定負債		
長期借入金	15,160	12,768
その他	9,890	9,737
固定負債合計	25,050	22,505
負債合計	47,412	44,970
純資産	22,684	23,905
負債純資産合計	70,097	68,875
(借入金)	19,942	17,551

連結キャッシュ・フロー計算書

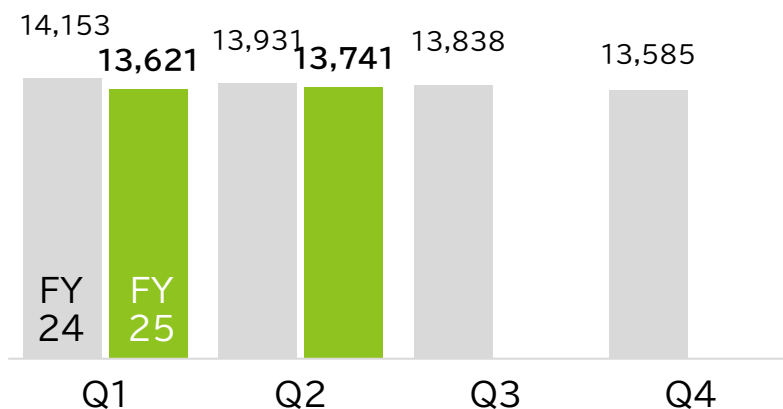


百万円	FY2024 Q2累計	FY2025 Q2累計
税金等調整前中間期純利益	3,455	3,827
減価償却費	711	713
のれん償却額	828	821
法人税等の支払額	-1,003	-1,270
その他	-3,609	-3,048
営業CF	381	1,043
有形固定資産の取得による支出	-210	-150
無形固定資産の取得による支出	-263	-242
金銭の信託の解約による収入	1,107	—
投資有価証券の償還による収入	—	310
その他	86	-30
投資CF	720	-113

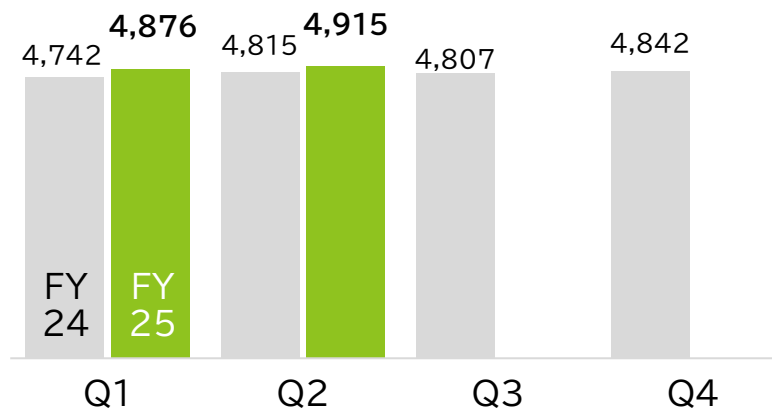
	FY2024 Q2累計	FY2025 Q2累計
短期借入金(借入-返済)	-500	—
長期借入金(借入-返済)	-2,391	-2,391
配当金の支払額	-919	-922
その他	-101	-630
財務CF	-3,912	-3,944
現金及び現金同等物の増減額	-2,810	-3,014
現金及び現金同等物の期首残高	15,115	14,004
現金及び現金同等物の期末残高	12,305	10,989
フリーキャッシュフロー	1,102	930
(償却合計)	1,540	1,534
(設備投資)	454	410
(M&A投資)	—	—
(投資合計)	454	410

介護事業 サービス利用状況(9月末時点)

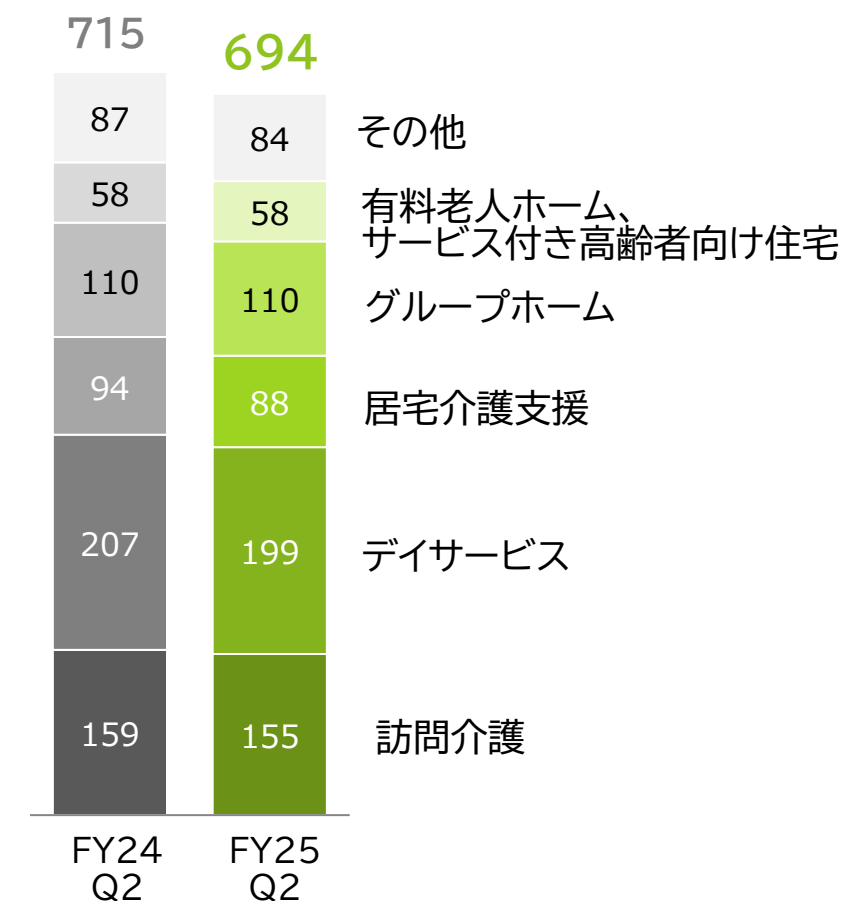
訪問介護利用者数(人)



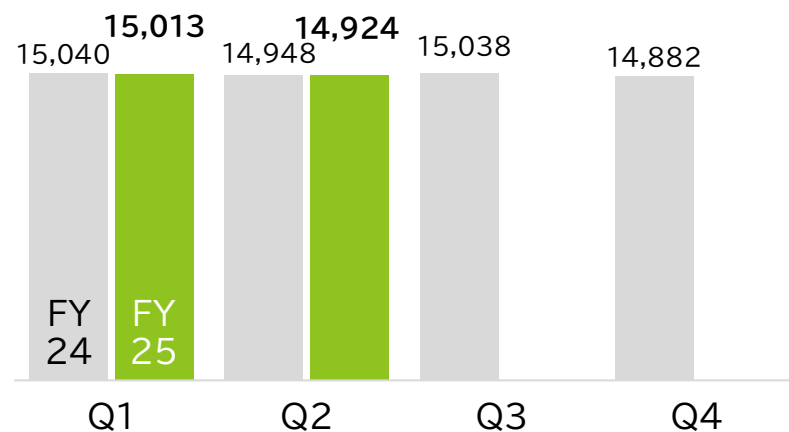
施設系サービス*1入居者数(人)



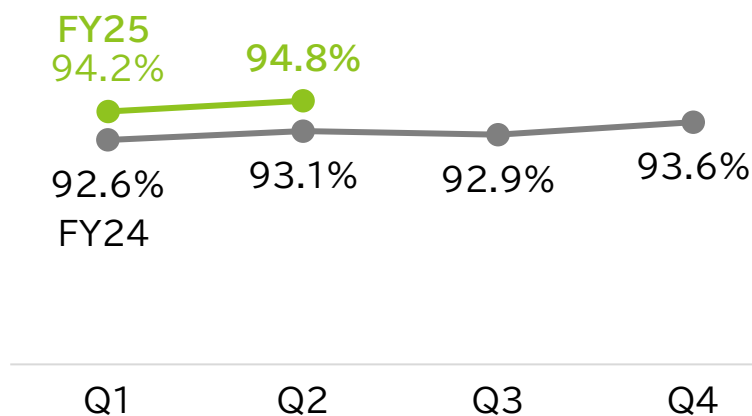
施設数(ヶ所)*2



デイサービス利用者数(人)



施設系サービス月末入居率



*1 グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅

*2 上記のほかフランチャイズが24ヶ所

－ 免責事項

本資料に含まれる将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

－ お問い合わせ先

株式会社ソラスト(証券コード:6197) 管理本部 経営企画部 IR広報グループ
〒108-8210 東京都港区港南2丁目15番3号 メール:ir@solasto.co.jp

－ ホームページ: <https://www.solasto.co.jp/>



IRメールマガジン

最新の適時開示等の当社IRに関する情報を配信しています。

✉ ご登録はこちらから

